

# 図書館通信 11月号 宇東図書館委員会

紅葉も進んで、肌寒くなり、日だまりの恋しい季節になりました。あたたかい部屋の中で、ゆっくり本を読みませんか？今月号は、様々なジャンルから、図書委員4名のおすすめの本を紹介します。

## 『ハッピーバースデー』 青木 和雄・吉富 多美 著



優秀な兄と比べられ、母から容赦ない言葉を浴びせられる主人公・あすか。11歳の誕生日は、祝ってもらえなかった。その上、母から言われた言葉は「ああ、あすかなんて、本当に生まなきゃよかったなあ」。

辛い生活で声を失ってしまったあすかは、優しい祖父母のもとで自然な営みに触れて「いのち」の意味を学ぶ。愛に飢え、愛を求めて彷徨う母娘の再生の物語。

2年1組 山之内さん から一言

あすかの言葉にたくさん考えさせられ、そして、救われました。

—— みんな、自然の恵みなんだって思ったの。ぐるぐる輪になって生かし合ってるんだなって。

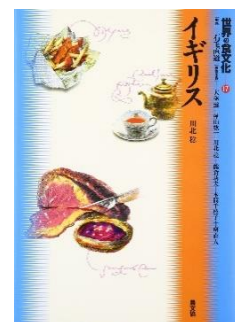
## 『世界の食文化 イギリス』 川北 稔 著

ロースト・ビーフ、フィッシュ・アンド・チップス……。

シェイクスピアの時代から現代まで、イギリスの食文化を豊富な資料を用いて概説。当時の作家や旅行者によるイギリス料理についてのレビューや、イギリス料理が登場する文学作品も紹介されており、当時のリアルな食卓から読み取るイギリス近現代史。

2年2組 久米さん から一言

イギリスに関連した国が出てきたりして、某国擬人化が好きな私は楽しく読むことができました。フランスやスペインなど、他の国のシリーズもたくさんあります。



## 『キノの旅 the Beautiful World』 時雨沢 恵一 著



主人公のキノが、喋るモトラド（二輪車）の相棒・エルメスと共に世界中のあらゆる国を旅する物語。「人の痛みが分かる国」「多数決の国」「平和の国」など、旅する国はどれも個性豊かで、そこでは人の愛やエゴなど、私たちの日常とつながる何かを見つけることができる。読むたびにハッとする、ふしぎな短編集。

2年1組 大久保さん から一言

毎回タイトルが凝っていて、話を読む前にその意味を考えるのが好きです。みなさんもぜひそのように読んでみてください。

## 『名のないシシャ』 山田 悠介 著

「死ぬまでの時間」が分かり、命を与える特別な力を持つ「シシャ」。名前を持たない彼らだが、大切な人と出会い、一緒に過ごすうちに様々な感情を知る。名前をもらった3人の「シシャ」、そして、周りの人々の成長・葛藤を描いた感動必至の物語。

2年2組 松本さん から一言

特に、一番おすすめのシーンは、シシャが命をかけて自分の大切な人たちを守ろうとするシーンです。



図書館には、他にもたくさんのジャンルの本があります。ぜひ、自分にあった本を探しにきてください！